

鶴ヶ岡振興会新聞

発行元：鶴ヶ岡振興会
 発行責任者：小畑 学
 TEL:0771-76-9020
 FAX:0771-76-9021

ツルガオカカンキョウセイビ

6月7日、「ツルガオカカンキョウセイビ」を実施しました。当日は雨予報もあり参加者は42名と少なめでした。作業開始とともに小雨が降り、終盤は体が濡れて冷え込むほどの雨となりましたが、皆さんの手で草刈りや草引き、体育館のワックス掛けまで手際よく進めていただきました。

また、資源ゴミ回収ではアルミ缶が昨年の1.3倍に増え、多くのご協力をいただきました。作業後には「ムラガーレ食堂」のカレーと、今回は温かいおうどんをいただきました。冷えた体に温かいお汁が染み渡り、皆さんの話し声とともに楽しい昼食となりました。 厳しい天候の中、地域の強い結束力で旧鶴ヶ岡小学校が美しくなりました。ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

次回、2回目の環境整備は9月6日(日)、

資源ゴミ回収は11月29日(日)に行いますので、ご協力よろしくをお願いいたします。



振興会のゴーヤ、すくすく育つ

5月23日、地球温暖化防止に向けた啓発活動の一環として、振興会事務所の東側に役員がゴーヤを植えました。

ゴーヤは夏の間葉を広げ、グリーンカーテンとして日陰をつくり、昨年の計測でも平均3.4℃の断熱効果が計測されるなど、室内の温度を下げられます。

実は9月に収穫し、ご好評をいただいている佃煮にして、高齢者宅におすそ分けする予定です。



サークル花づる

サークル花づるの活動 大阪への視察研修 ～中之島公園と梅田スカイビル～

5月19日、サークル花づるは、視察研修を実施し、大阪市中之島公園バラ園と梅田スカイビルを訪れました。

大阪水上バスで、大阪城港から八軒家浜船着場に向かい、徒歩で中之島に上陸し、バラ園を散策しました。ヨーロッパ調の庭に約3700本のバラが植えられており、香りと色鮮やかな花々を堪能しました。よく整備された素晴らしい庭で、お天気も良く、多くの方が来場されていました。

そのあと、梅田スカイビルに移動し、屋上から大阪市内を一望したり昼食を楽しんだりしました。このビルの敷地内には、花壇もあり、ジャガイモ等が植えられた畑もあり、緑の木々に囲まれた都会のオアシスのような場所でした。

また、水上バスからもスカイビルからも、大阪が「水の都」と呼ばれる街であることを実感しました。

会員の親睦交流はもちろん、街の川や公園等を鑑賞することができ、楽しく学びの多い一日でした。



まなづるサロン

～まなづるサロンでコケ玉づくり～

6月10日の「まなづるサロン」は、林健センターで「コケ玉づくり」に挑戦しました。

材料は身近なコケやケト土、芽を出したモミジやシダなどの植物を使い、参加者の皆さんは手際よく作業を進め、それぞれ個性あふれるコケ玉を二個ずつ完成させました。

出来上がった緑鮮やかなコケ玉は涼しげな雰囲気、参加者からは「家に飾るのが楽しみ」



5月13日 砂木の公園で「グランドゴルフ」

との声も聞かれました。

次回は7月8日、鶴ヶ岡駐在所の井筒さんを講師に迎え、「暮らしの防犯のお話」を予定しています。

本サロンは、鶴ヶ岡在住の65歳以上の方なら、いつからでも参加いただけます。興味のある方は、鶴ヶ岡振興会までお電話ください。



6月10日 コケ玉づくり

綾部美山線開通促進協議会

二王公園まつりで手打ちそば！

6月7日、綾部市で開催された二王公園まつりに、府道綾部美山線開通促進協議会（美山側の協議会）が参加しました。

協議会のブースでは、前日から神谷のそば打ち名人たちが準備した手打ちそばを販売し、昼前に70杯が完売しました。

また、同日開催の二王門登山レース（マラソン）では、小学生から88歳まで545名のランナーが一陣の風となって、山里を駆け抜けました。



このまつりは両地域の絆を深める機会となっており、今後もこうした息の長い活動を通じて、過疎化など共通の悩みを持つ両地域の元気づくりにつなげていきます。



鶴ヶ岡地域の企業、団体紹介

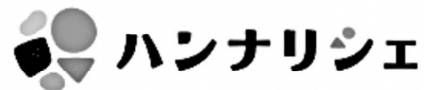
「合同会社ハンナリCHE」

私たちは、川合の元マエダ繊維工場で有機JAS認証を取得したタモギタケとヒラタケを栽培し、自然の力を活かした循環型農業に取り組んでいます。

また、「農業とエネルギーの両立」をテーマに、農業振興と地域のエネルギー自立につながる取り組みも進めています。

異業種だからこそその視点と挑戦する姿勢を大切に、「アグリ・エネルギー・教育」の分野から、地域の皆さまと共にワクワクする未来づくりに挑戦していきたいと考えております。

持続可能な環境と食の未来を創造する



当面の予定

- **6月27日(土) 綾部美山線開通促進協議会総会**
11:00~ 豊郷公民館
- **6月29日(月) 京都銀行移動店舗車**
10:00~15:00 たなせん駐車場
- **7月8日(水) まなづるサロン**
13:30~15:30 林健センター
- **7月12日(日) 花づるの丘作業日**
8:30~
- **7月29日(水) 京都銀行移動店舗車**
10:00~15:00 たなせん駐車場

熊注意

熊の出没情報が寄せられています。昼間の目撃情報も増えています。外出や農作業の際は十分ご注意ください。単独行動を避け、早朝・夕方の外出は控えましょう。



佳句への秘訣

小畑翠光

衣食住の考古学 「虎杖」

この2文字どう読みますか？私たち高野分教場の2年生を終え3年生になる10人ばかりは「いたどり」と読めたのです。春を告げ誰にはばかることなく田の畔や山麓で自由に折って食べた春の「なんど」の一つなのです。

これは、分教場で2年間教えてもらった綾部出身の土帰月来の村上九一郎という中年の男性教員が丹後の日本海に近い宇川村の虎杖(いたどり)という所にある分教場に転勤となることになったのです。ここには「間人(たいざ)」という、これも日本では難解地名の一つとなっている地名もあります。

先にも少し触れた「いたどり」は春の「なんど」のトップクラスだったかもしれません。これは食べるだけでなく遊び道具にもなりました。水車です。田舎の家には小さな溝が家の周りにあります。そこを舞台に虎杖の皮をむいて水車を作り溝で遊んだりもしました。成長しきったものは切り倒して刀にした随分と遊び道具として利用したものです。北海道では長寿者の杖として土産物店頭に並んでいるのを見ることがあります。

句会「どんぐり」

苗を待つキラキラ光る植田かな
都

八十路かなもう恐がらぬ百足にも
節子

四つ折のレシート春のポット苗
孝子

傾なだれ咲く裏山なべて藤の花
とし子

振興会新聞では、公民館・区・各種団体の活動や行事予定を募集しています。

鶴ヶ岡振興会までお知らせください。

email: tsurugaoka-ookini@kcn.jp